



平成 30 年 5 月 7 日

各 位

上場会社名 ラサ工業株式会社
 代 表 者 代表取締役社長 庄司 宇秀
 (コード番号 4022)
 問合せ先責任者 経理部次長 桐山 知之
 (TEL 03-3278-3892)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 30 年 2 月 14 日に公表しました平成 30 年 3 月期(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)業績予想及び、平成 29 年 11 月 6 日に公表しました 1 株当たり配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 平成 30 年 3 月期 通期連結業績予想数値の修正(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	27,000	2,500	2,300	1,800	227.04
今回修正予想 (B)	27,000	2,800	2,700	2,200	277.51
増 減 額 (B-A)	0	300	400	400	
増 減 率 (%)	0	12.0	17.4	22.2	
(ご参考)前期連結実績 (平成 29 年 3 月期)	23,283	1,622	1,342	1,726	217.71

(注) 当社は、平成 29 年 10 月 1 日付で普通株式 10 株につき 1 株の割合で株式併合を行っております。前期実績(平成 29 年 3 月期)における 1 株当たり当期純利益については、上記株式併合の影響を考慮しております。

2. 平成 30 年 3 月期の通期連結業績予想の修正理由

当連結会計年度は、好調な世界経済に支えられ、日本経済は企業収益が順調に回復し、個人消費も底堅く推移しました。

このような状況の中、化成品事業においては、国内外の半導体向け高純度磷酸の販売が好調であったことから損益は予想を上回る見込みです。また、電子材料事業は、化合物半導体向け高純度無機素材の建値の急速な回復により、在庫評価の影響が損益を押し上げた結果、予想を大きく上回る見込みです。

このような見込みから、平成 30 年 3 月期の業績予想を上記のように修正いたします。

3. 配当予想修正の内容(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

	年間配当金(円)				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
前回発表予想 (平成 29 年 11 月 6 日発表)	—	—	—	30 円 00 銭	30 円 00 銭
今回修正予想	—	—	—	40 円 00 銭	40 円 00 銭
当期実績	—	—	—		
前期(平成 29 年 3 月期)実績	—	—	—	2 円 00 銭	2 円 00 銭

(注)当社は、平成 29 年 10 月 1 日付で普通株式 10 株につき 1 株の割合で株式併合を行っております。なお、平成 30 年 3 月期の 1 株当たり年間配当金(予想)については、当該株式併合を考慮した額であり、株式併合を考慮しない場合、前回予想は 1 株につき 3 円、今回修正予想は 1 株につき 4 円となります。

4. 配当予想修正の理由

当社の利益配分につきましては、株主への利益還元を重視しつつも、業績の推移を勘案した財務体質改善及び将来の設備更新・拡充等、事業展開のための原資である内部留保との調和を総合的に検討し決定することが、株主の安定的・継続的な利益に繋がるものと考え、これを基本としております。

当期は、今回の業績予想の修正を踏まえ、利益配分方針を総合的に勘案した結果、配当予想を上記のように修正し、1 株当たり 40 円といたしました。

(注) 本予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後さまざまな要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

以上